

【研究課題】国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 臨床研究倫理審査委員会 承認番10073  
さまざまな生活習慣病における動脈硬化性疾患関連因子の検討

① 対象

2010年7月21日から2020年7月31日の期間で、当院にて外来もしくは入院中の20歳以上の患者で生化学検査が終了し廃棄する予定の検体。

② 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

③ 目的

直接血管障害性を有するリポタンパクであるレムナントが、動脈硬化性疾患の発症において重要視されているので、残余検体を用いて各種疾患におけるレムナント濃度を定量的に検定します。

④ 方法

動脈硬化性疾患の有無の評価のため、既往歴等のカルテ記載等で患者背景および治療状況調査を行い、レムナント濃度との関連性を調査します。

⑤ 意義

レムナント代謝異常を有する患者に全身の血管内の炎症が関与し動脈硬化が発症する可能性が高く、脂質代謝異常と各種疾患との相関を検討することで、動脈硬化発症への多段階の進展を段階的に評価できる可能性があり、臨床的にも学術的にも意義があります。

⑥ 個人情報の取り扱い

研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行います。

⑦ 問合せ先

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号

本研究は、残余検体を使用することから侵襲性がなく、かつ不承諾書の提出がない検体に限定して実施することから、本研究は臨床検査部ホームページで公開することで、同意省略にて研究を実施することを倫理審査委員会から許可を得ています。